やまとぐさ　第4号：25－29

梼原町長山家寄贈書籍から読み解く 幕末から明治初期の地域医療

吉冨 誠
梼原町立国保梼原病院

はじめに

長山家より牧野植物園へ寄贈された，梼原町四万川地区（旧四万川村）の村医・長山修道の蔵書を紹介する．蔵書からは幕末から明治へ激動期の地域医療を読み解くことができる．漢方関連の蔵書は10冊．臨床に直結した内容が多い．産科や感染症の書籍も含まれる．蘭方・洋方の蔵書は23冊．外科や眼科も含まれる．華岡流整骨術と思われる絵巻物は色彩も鮮明に残っている．薬問屋の納品書である「御薬種通」より須崎・佐川・高知・内子の問屋と取引していたことがわかった．

1. 長山修道とは

高知と愛媛の県境，龍馬脱藩の関所近く旧四万川村本も谷集落は梼原町中心部から車で20分．幕末から明治にかけてこの集落に長山修道と吉本元仙という医師がそれぞれ開業していた．図1は当時のまま残されている長山家の写真である．梼原町史によると元仙は医業修行のため大阪（緒方洪庵の適塾か？）へ赴いたとある．今回寄贈された蔵書の持ち主長山修道の生年月日は不詳，1902年に亡くなっている．1859年に松山へ修行に赴いていることから，20歳で修行に出たと仮定すると，1839年生まれとなる．坂本龍馬は1836年生まれ，同時代の人物である．

図1．梼原町四万川地区に当時のまま残る長山家．

2. 幕末から明治初期の病気と医療

幕末期は医療が一般人のものとなり，各藩に医学校が設けられ，町医者や村医者が活躍した．さらに医学が漢方医学から蘭方医学・ドイツ医学へと移行した激動の時代である．立川（1976）によると幕末から明治期に町医者が診療した病気の統計ベスト10は表1のとおりである．トラコーマなどの眼科感染症，コレラ・インフルエンザ・麻疹・天然痘・結核・梅毒などの感染症，栄養失調による脚気などが医療の主な対象であった．さらに妊娠出産も命がけで，賀川流産科などが興った．

表1．幕末から明治期に町医者が診療した病気の統計ベスト10．

1	眼病
2	疝気（鼠径ヘルニアなどの下腹部痛）
3	疱瘡（天然痘）
4	食傷（食中毒）
5	歯痛
6	風邪（流行性感冒）
7	瘡毒（梅毒）
8	痔
9	癪（胆石・膵炎・心筋梗塞など胸部腹部痛）
10	腫病（脚気）

立川昭二著（1967）『日本人の病歴』より．

3. 長山修道蔵書の概要

（1） 江戸時代の古医書漢方医学関連

漢方医学関連蔵書目録を表2示す．当時臨床家として高名であった，片倉鶴陵の著書が最も多い．片倉鶴陵（1751−1822）字は深甫，通称元周，鶴陵は号．苦学して江戸医学館で当時一流の伝統医学理論と臨床を学ぶ．後に賀川流産科を修め終生市井の臨床医を貫いた．町医者の身分でありながら大奥に招かれ徳川家斉の嫡子を取り上げた．著書も多く『黴瘡新書（ばいれい）』（1786年刊），『傷寒啓微（しょうかんけいび）』（1793年刊），『保嬰須知（ほえいすち）』（1848年刊），『青嚢瑣探（せいのうさたん）』（1802年刊），『静倹堂治験』（1822年刊），『産科発蒙』（1822年刊）を著している．片倉鶴陵の医案集である『静倹堂治験』（図2）には，三味線の糸と筆の管で作ったシュリンゲによる鼻茸切除術を行った記述と絵図（図3）がある（森本 1978）．これが世界で最初に

鼻茸をシュリンゲで摘出した記録であることが，九州大学耳鼻咽喉科教授久保猪之吉によって 1907 年ドイツの医学雑誌に紹介された（森本 1975）．片倉『傷寒啓微上・中・下』は、臨床的な観点から傷寒論解釈の規矩を示した本である．『黴癘新書』は梅毒の治療書である「理黴新書」とハンセン氏病の治療書「理癘新書」の２部構成で，1894 年に米国医師会雑誌 JAMA に英訳が掲載された（Ashmead 1894）．ハンセン氏病には焼鍼法と漢方薬が併用された．

表2．長山修道蔵書（医学関連）目録　漢方

書籍名	出版年	著者（編・傳）
万病回春	1668	龔廷賢（編）
小刻傷寒論	1715	香川修徳
鍼灸重宝記	1718	本郷正豊
黴癘新書	1786	片倉鶴陵
傷寒啓微	1793	片倉鶴陵
病名彙解	1793	蘆川桂洲
静倹堂治験	1822	片倉鶴陵
産科手術秘伝奥義録	不明	賀川玄通（傳）
済義堂方函	不明	不詳

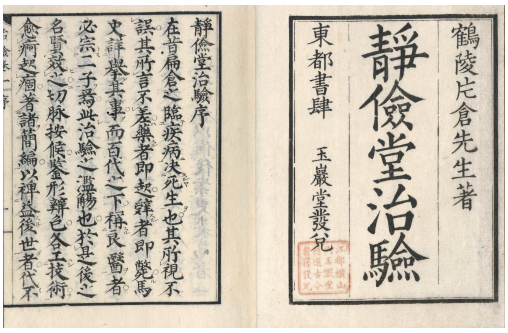

図２．片倉鶴陵の医案集『静倹堂治験』（1822 年刊）．

図３．三味線の糸と筆の管で作ったシュリンゲによる鼻茸切除術を行った絵図．

蘆川桂洲（生没年不詳）による『病名彙解』（1793 年刊）（図 4）は，病名辞典で，1822 種の病名をいろはにほへと順に並べ解説をほどこしている．香川修徳（1683−1755）が著した『小刻傷寒論』（1715 年刊）は，成無已（せいむい）の『註解傷寒論』（1144 年刊）を底本にした江戸時代最も普及した傷寒論のテキストである．香川修徳は江戸時代中期の古方派医で，医療用漢方製剤「治打撲一方」を創案した．修徳が著した『一本堂行余医言』（1788 年刊）巻五の精神疾患の記述は当時としては斬新な説と評価される（山田 1970）．賀川流の産科書の書写「産科手術伝奥義録」は逆子の整復術の記述に図（図 5）が添えられている．賀川流産科は賀川玄悦（1700−1777）によって興された．胎児の正常胎位を世界に先がけて発見したことでも知られる（杉谷・岩下 1983）．龔廷賢（ぎょうていけん）（1522−1619）による『万病回春』（1668 年刊）は明代の総合医学書で，日本で 18 回和刻された江戸時代医学書のベストセラーである．鍼灸関連では，鍼灸の入門実用書として有名な本郷正豊（生没年不詳）『鍼灸重宝記』（1718 年刊）．全体として日常実用診療に役立つ本を集めている．

図４．蘆川桂洲による『病名彙解』（1793 年刊）．

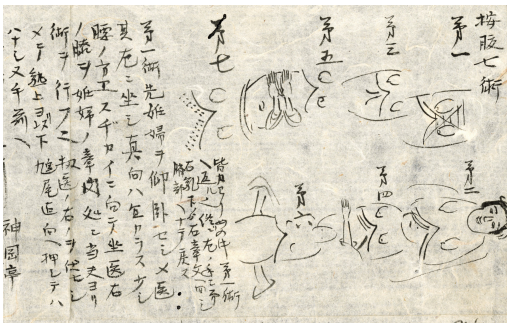

図５．賀川流の産科書の書写「産科手術伝奥義録」の逆子の整復術の図．

(2)　蘭方医学書

蘭方と明治以降の洋方医学関連蔵書目録を表 3 に示

す．蘭方医学とは長崎出島のオランダ商館の医師によって伝えられた医学である．1823 年に来日したシーボルトが鳴滝塾を開いた．出島のオランダ人医師ニーマンの下で医学を学んだ緒方洪庵（1810−1863）は，1838 年大坂に適塾を開き，福沢諭吉・佐野常民・大村益次郎など 3000 人を超える門弟にオランダ語や医学を教えた．天保年間にはメスやピンセットや鋏などさまざまな外科道具が売り出されており，幕末には，農村にも蘭方医がいることが珍しくなかった．栗崎道喜（1582−1651）の著として伝えられている『金創本末撰奇』(刊行年不明）は南蛮流外科術の本である．道喜は江戸前期の外科医，名は正元．肥後国出身，幼時長崎に移住，南蛮人に連れ去られて南蛮国（マカオともルソンともいわれる）に渡り外科術を修得．後に長崎に帰り栗崎流南蛮外科の開祖となった．四男正家の子正羽（道有）は幕府医官となり吉良上野介の刀傷を治療した（中川 2001-）．『究理堂備用方府中編』（刊行年不明）は江戸後期の蘭方医小石元瑞（1784−1849）らの編集になる処方集の書写である．

表3．長山修道蔵書(医学関連)目録　蘭方洋方

書籍名	出版年	著者(編者)
済民外科重宝記	1746	不詳
瘍科秘録	1847	本間棗軒
経験方府	1873	高橋正純
原病学各論	1879	エルメレンス
増訂醫通(第5版)	1889	伊勢錠五郎
医家綱鑑	1898	青木純造・飯高芳康
日本薬局方備考	不明	青木純造・飯高芳康
金創本末撰奇	不明	栗崎道喜
常用方府記	不明	小石元瑞
究理堂備用方府中編	不明	小石元瑞
華岡青洲先生整骨法図説	不明	華岡青洲
丸散方彙便覧	不明	不詳
目傳用之巻	不明	不詳

水戸藩医本間棗軒（1804−1872）が著した『瘍科秘録』(1847 年刊）（図 6）全 10 巻は華岡流外科の奥秘を公開したものである．痔疾・乳癌・癰などの外科疾患，疥癬などの皮膚疾患，抜歯術なども含まれる．「食菟中毒」の記載は野兎病の世界で最も古い記録とされる（日本医師会 1994）．『瘍科秘録』巻十には人間に生えた尾の治療記録がある（図 7）．「近くの里、某の子供は、生まれながらに、長強 （尾てい骨と肛門の間）の先に贅肉を生じ長さ三寸許り，太さ雙指の如く，この子，成長するに従って贅肉も長大になり疎らに毛を生し，あたかも獣尾に似たり，三歳の時，私に治療を乞うて来たので，根元より裁断してみたところ内まで肉で，余り出血も無く，十四〜五日にして全癒せり実に希有の奇病なり・・・・」．

図６．本間棗軒による『瘍科秘録』(1847 年刊)．

図７．本間棗軒による『瘍科秘録』巻十に描かれた人間に生えた尾の治療記録図．

(3)　明治以降の医書

第 1 訂日本薬局方の解説書や臨床に役立つ実用書が多い．『経験方府』（1873 年刊）は，西洋医学の処方集である．著者の高橋正純（清軒）（1835−1891）は，熊本で初めて種痘を行った藩医高橋春圃の長男で，横井小楠に漢学を，青木周弼らに蘭方を学ぶ．長崎でポンペ，ボードインらに師事して西洋医学をおさめ，長崎病院塾頭となる．肥後熊本藩医をへて，維新後，大阪医学校長兼大阪府病院長などを歴任した（上田ら 2015）．『原病学各論』（1879 年刊）（図 8）は，1870 年に来日した御雇外国人医師エルメンス（1841−1880）が大阪医学校（現大阪大学医学部）で教鞭を執った講義録で，訳者は高橋正純と三瀬諸淵（1839−1877）である．三瀬は伊予大洲出身で，シーボルトに学び，後にシーボルトの孫楠本高子と結婚した（上田ら 2015）．

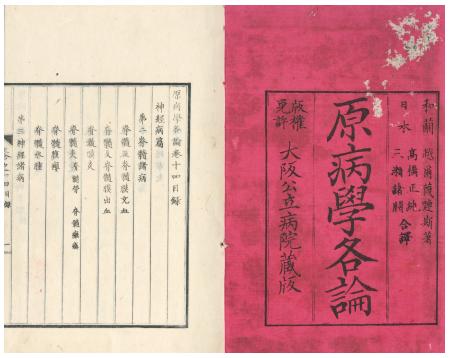

図８．医師エルメンスによる講義録の高橋正純と三瀬諸淵による翻訳書『原病学各論』(1879 年刊)．

『日本薬局方備考』（図 9）は『初版日本薬局方』の解説書で薬局方篇・実地治療篇・医家備考篇と 3 部構成で

ある．日本薬局方は医薬品に関する品質規格書で，初版は 1886 年に公布され，今日に至るまで改訂が重ねられ，現在第 18 改正日本薬局方が公示されている．実地医療篇では人工呼吸法などの救急処置も記載されている．伊勢錠五郎が著した『増訂醫通』第 5 版（1889 年刊）は各科臨床の指南書である．飯高芳康・青木純造編訳の『医家綱鑑』（1898 年刊）も同じく各科臨床各論の手引き書である．

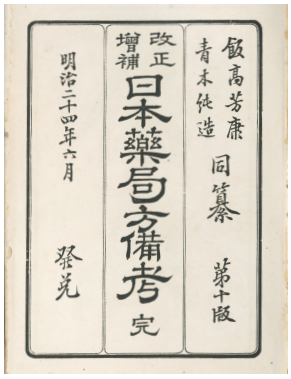

図 9．『初版日本薬局方』の解説書『日本薬局方備考』.

「華岡流治術図識」（図 10）と思われる絵巻物は 19 種の絵図によって成り立っている．表題や絵師の落款はない．ほぼ同じ図柄の絵巻が「華岡流治術図識」として漢方の臨床誌に紹介されている（青柳 1993, 小曽戸 2021）.

図 10.「華岡流治術図識」と思われる絵巻物.

(4)　御薬種通

生薬納入書である御薬種通とその袋が多数保存されていた（図 11）．取引先の生薬問屋は県内では高知市・佐川町・須崎市、県外では愛媛県の内子町と広範囲である．佐川町の生薬問屋である黒金屋竹村忠次郎（図 12）は土佐の銘酒「司牡丹」の蔵元竹村家の一族である．須崎市の生薬問屋金澤弥三平は現在もカナザワ薬局として営業中である（図 13）．取引していた生薬の内容（図 14）も見ることができる．

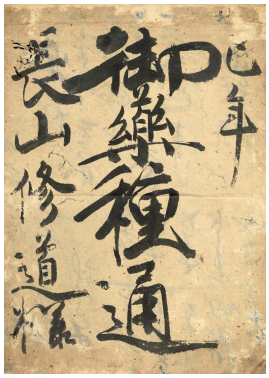

図 11．生薬納入書である御薬種通の袋.

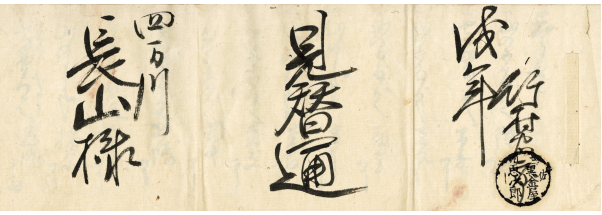

図 12．佐川町の生薬問屋である黒金屋竹村忠次郎による御薬種通.

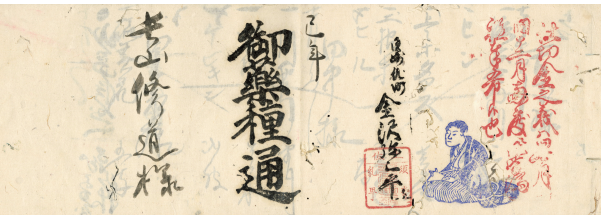

図 13．須崎市の生薬問屋金澤弥三平による生薬納入書である御薬種通.

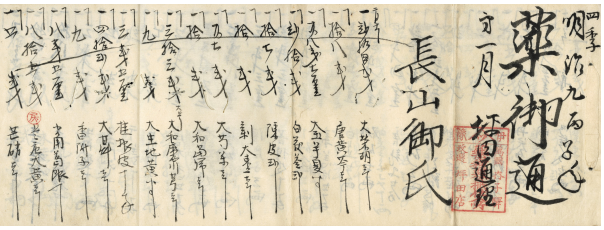

図 14．取引していた生薬の内容.

(5)　医学校創設の高知新聞広告写

1880（明治 13）年，当時高知の 3 名医とうたわれた山﨑立生，楠正興，岡村景楼が医師を養成するため私学医学校を創設した．高知新聞に広告を出したものを修道が書写したものであり，新しい医学への興味がうかがえる．

まとめ

山間僻地である旧四万川村に幕末から明治にかけて村医が２名開業していた．医療を支えるだけのそれなりの人口があったと推察される．医学を学ぶための基礎知識である漢学の教養を身につける教育機会もあったと思われる．救急車やドクターヘリもなく，カゴや馬で往診していた時代，究極の地域完結型医療で，幅広い分野の救急医療を行っていたことが推察される．蔵書も多方面にわたり，特に感染症・産婦人科・外科・整形外科・眼科の知識が求められていた．

幕末から明治への激動の時代に，医学も大きく変貌し，村医もその変化に対応したことが，蔵書からも，高知で新たに開設された医学教育機関の記事からも推察される．医薬品の購入先は須崎・佐川・高知から隣県の内子町にまで及び，当時の医薬品流通の様子をうかがい知ることができる．

以上蔵書の解説とそこから読み解ける，幕末から明治初期の山間僻地医療を考察した．

引用文献

Ashmead, A. S. 1894. Traditional Treatment of Leprosy in Japan and China. JAMA 22: 606−608.

真柳誠．1933. 目で見る漢方資料館66 華岡青洲の手術図と脱臼整復図．漢方の臨床 40: 1338−40.

上田正昭，西澤潤一，平山郁夫，三浦朱門（監）．2015．高橋正純．ジャパンナレッジ版日本人名大辞典 講談社．JapanKnowledge〈https://japanknowledge.com〉(2021年11月5日閲覧).

上田正昭，西澤潤一，平山郁夫，三浦朱門（監）．2015．三瀬周三．ジャパンナレッジ版日本人名大辞典 講談社．JapanKnowledge〈https://japanknowledge.com〉(2021年11月5日閲覧).

小曽戸洋．2021．目で見る漢方資料館 399 華岡流治術図識．漢方の臨床 68: 5.

杉立義一，岩下守．1983．日本近代産科学の先駆者 賀川玄悦の思想と業績を求めて．助産婦雑誌 37: 437−440.

立川昭二．1976．日本人の病歴．中公新書 449．272 pp．中央公論新書．東京.

中川米造．2001．栗崎道喜．世界大百科全書（ニッポニカ）小学館．JapanKnowledge〈https://japanknowledge.com〉(2021年11月5日閲覧).

日本医師会（編）．酒井シヅ（監）．1994. 医界風土記 関東甲信越篇．314 pp．思文閣．京都.

森本新．1978．将軍と町医−相州片倉鶴陵伝．有隣新書．223 pp．有隣堂．神奈川.

山田光胤．1970．江戸時代の精神病学における一本堂．日本医史学会雑誌 16: 180-189.